

仁別自然休養林

秋田市の中心街を流れる旭川の源流部一帯、太平山の山懐に広がる森林地帯で、春はブナの新緑とベニヤマザクラが山を彩り、秋にはカエデ類の紅葉が溪流に映え、四季折々の優れた自然景観を楽しむことができます。特に、日本三大美林の一つとして有名な「天然秋田杉」の古里でもあり、旧佐竹藩の「御直山（おじきやま）」として自然林のまま保護されており、その姿を間近に見ることができ森林浴や自然観察などに最適で、訪れる人々の心を癒してくれます。

また、秋田市のシンボルで平成16年度に「高齢者も登れる百名山」に選ばれた「太平山（1,171m）」の登山口の一つとなっており、山頂からは、秋田市を眼下に、日本海、男鹿半島、鳥海山、遠くは岩木山、岩手山、早池峰山など広大な360度の眺望が楽しめます。

仁別自然休養林は、「仁別国民の森」の名で市民に親しまれており、秋田市街地から車で約50分と比較的近く、春の新緑や秋の紅葉の季節には、登山や森林浴、自然観察、ナベッコ遠足などで賑わっています。

天然秋田杉の歴史

文化年代（1804～1818）佐竹藩九代藩主義和（よしまさ）公は、第三期林政改革樹てられ、計画実現のため登用したのが、加藤景林（かげしげ）であります。木山方吟味役としての景林は、綱紀の肅正、制度の改新によって着々とその実績をあげ、佐竹藩林政に有終の美をなすにいたったといわれております。

昭和44年（1969）「仁別自然休養林」に指定されました。

昭和47年（1972）「仁別自然休養林」を含む12千haが太平山県立自然公園に指定されました。

「国民の森」とは

昭和41年国有林は明治100年記念事業として、全国に2箇所の「明治の森」を指定し、さらにその他の6箇所に「国民の森」を指定しました。その中の1つが「仁別国民の森」です。

「自然休養林」とは

みなさんに森林レクリエーションを楽しんでいただくために、全国の国有林の中から、特に優れた自然景観を有する森林を選んで整備した「人と森林とのふれいあの場」です。

四季折々の景観に親しみ、存分に楽しんでください。



交通案内 (仁別国民の森まで)

- JR秋田駅より車で約50分
 - 秋田自動車道 秋田中央ICより車で約50分
- 仁別集落より先の道はせまくなりますので運転にはご注意ください。

お問い合わせ先

東北森林管理局

〒010-8550 秋田県秋田市中通5-9-16
指導普及課 TEL 018(836)2214
国有林野管理課 TEL 018(836)2021

秋田森林管理署

〒019-2601 秋田県秋田市河辺和田字和田156-3
TEL 018(882)2311

仁別森林博物館

秋田県秋田市仁別字務沢国有林22林班
TEL 018(827)2322

利用案内

- 入館料/無料
- 開館期間/ 5月上旬～11月上旬
- 開館時間/ 5月～9月 10:00～17:00
10月～11月 10:00～16:00
- 休館日/毎週火・水・木曜日(祝祭日は除く)
※休館日の団体利用は相談に応じます

「天然秋田杉」のふるさと 仁別国民の森



仁別自然休養林

仁別国民の森ガイド



天然秋田杉について

日本特有の属を代表し、1属1種(すぎ科、すぎ属)とされている。全国に広く天然分布し、古来から日本の代表的な植栽樹種であります。

■和名＝スギの語源

通直な樹幹形態の意で、(直木＝スゲキ)に由来するといわれています。

■天然秋田スギの特徴

材質が優れていることと相まって、蓄積が多いことで知られています。

■学名

ギリシャ語の、Crypto(隠れたる)meria(関節部分)の合字で針葉の基部が重なり合っておおわれ、また、葉に関節がなく、葉が枯死しても落ちないことを示すものといわれています。

■天然林の成立

古文書及び林分構造の分析等から、主に伏条あるいは立条によって繁茂したものが、その後の藩の保護政策により混入広葉樹が除去されたために成立したといわれております。

■天然秋田杉林内の樹齢

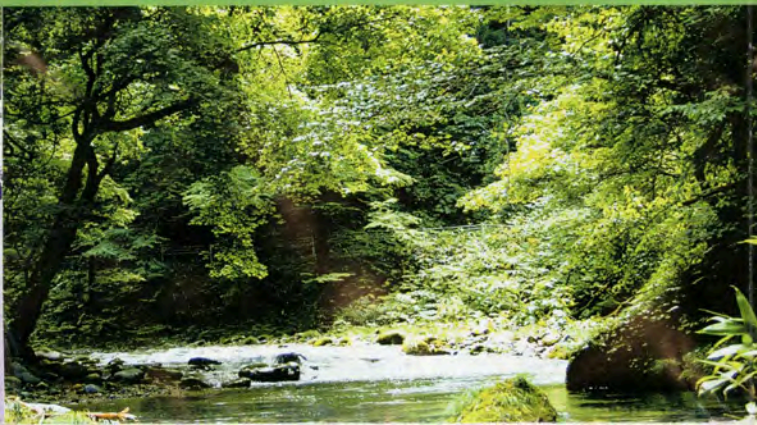
200～250年であるが、銘木誌によれば極限樹齢は概ね1500年前後と考えられます。

■用途

一般製材用(板類、天井板、造作材)、合板用(天井板)、木工(桶、樽、家具、建具、曲輪)として使われていました。

「天然秋田杉」の名称

人の手で植栽した杉を「スギ」と呼び、自然に生えたスギを「秋田スギ」と呼んでいましたが、秋田スギの材質の優良性等から日本三大美林として全国的に名声を博してきました。昭和57年4月に林業関係者等により名称を統一することとし、「秋田スギ」を「天然秋田杉」に、「スギ」を「秋田杉」と名称を統一し銘柄品として地域林業の発展に貢献してきました。



散策ガイド



博物館から見た天然秋田杉



登山道の広葉樹林



旭又の秋田杉林



せせらぎの道の清流



上空から見た列状間伐



紅葉の夫婦橋

緑の回廊

(太平山～森吉山～八幡平)

東北森林管理局では、森林生態系保護地域等の「保護林」を積極的に設定するなど自然環境の維持、動植物の保護等に努めてきました。

こうした「保護林」同士を連動して、連続した自然林を回復することにより、本来生息・生育する野生動植物の広域的なつながりを確保し、分断された個体群の相互交流、生物多様性の保全に資することを目指しております。





仁別森林博物館

昭和39年(1964)

当館は秋田営林局庁舎改築記念事業として設置(開館)しました。

昭和55年(1980)

秋田県博物館等連絡協議会へ加入しました。

博物館には、天然秋田杉成立の由来など古い貴重な資料のほか、林業の作業方法の変遷と道具類、木材製品、森林林業に関する資料が保存展示されています。

また、休養林に生息する動物や植物の標本も展示しております。

●ボールドウィン号

この蒸気機関車は、大正10年(1921年)に米国フィラデルフィアのボールドウィン社で製作され森林鉄道で木材運搬に活躍しておりました。昭和42年に仁別森林博物館の開設に併せ展示しております。



●めもと杉

名前は、いつの時代に誰が名付けたかわかっていませんが、寄り添うように立っている姿から名付けられたといわれております。樹齢はおよそ200年以上と推定され、古くから山仕事をする人達は山の神木として祀ってきました。

胴周りは12m、樹高は向かって左側が35m(女木)、右側が37m(男木)あります。



●昭和天皇陛下の歌碑

昭和44年8月28日、両陛下が行幸啓された際に「仁別国民の森」で詠まれた詩で、昭和44年11月20日当時の秋田営林局が博物館の隣に建立しました。

御製
志たくさの
しげれる森に
としへたる
直きすがたの
秋田杉を見つ
書 侍従長
入江相政



●軌道インクライン跡



で稼働していました。

現在は、登山道となっていますが、跡地が残っているのは全国的にも珍しいといわれております。

軌道は、急傾斜面を登ることができないので長い距離を迂回しなければなりません。このため、急斜面にレールを敷いて、ワイヤーロープと制動機を用いて台車を直線的に上下させることができるインクラインと呼ばれる軌道を設置しました。

秋田県ではここ仁別の外8箇所で大正時代から昭和30年代ま

仁別国民の森の動植物



アズマイチゲ
(4月上旬~5月上旬)



シラネアオイ
(4月上旬~5月下旬)



キクザキイチゲ
(4月上旬~5月上旬)



カキラン
(6月下旬~7月下旬)



イワカガミ
(5月上旬~5月下旬)



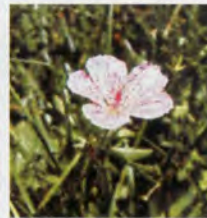
ミスバショウ
(4月下旬~5月中旬)



オコトラノオ
(6月下旬~8月中旬)



ツバメオモト
(6月下旬~8月中旬)



ハクサンフウロ
(6月中旬~10月中旬)



アキノキリンソウ
(9月上旬~11月中旬)



アカショウビン



クマタカ



ヤマセミ



カモシカ



ツキノワグマ

～「仁別国民の森」を大切に～

● マナーを守りましょう ●

- 自然は一度こわれると、修復に膨大な労力と時間を要します。樹木に傷をつけたり、草花の持ち帰りはやめましょう。
- ゴミは捨てないでください。ゴミはあなたの責任で持ち帰りましょう。
- 一人ひとりがマナーを守って、この美しい「国民の森」を、次世代へもっと美しく引き継ぎましょう。

● 歩道等の利用上の注意 ●

- 登山道は自己の体力と余暇に応じた山やコースを選びましょう。
- 強風時は枝が折れたりして飛来落下する危険があります。林内には入らないようにしてください。
- 雨降りの日は足場、木道が滑りやすくなっております。足元に充分気を付けてください。

● 交通安全(スピード抑えて) ●

- 仁別集落を過ぎると仁別林道に入ります、林道は全線舗装しておりますが、道幅が狭く、急カーブが多いので、スピードを落として安全に通行してください。

遊歩道のご案内

① 「みはらしの径」

博物館～駐車場750m・30分

展望台からは天然秋田杉と太平山とその連山を眺めることができ、四季折々の景観を楽しめます。



② 「せせらぎの径」

やすらぎの池460m・20分 林道分岐点

せせらぎの音を聴き、対岸の天然秋田杉の森を眺めながらゆっくり楽しめます。



③ 「めおと杉の径」

めおと橋320m・20分 吊橋

天然秋田杉、クロベ、サワグルミ等が茂り、ひときわ目を引く「めおと杉」の天然木があります。



④ 「天然秋田杉の径」

めおと杉400m・25分「めおと杉の道」分岐点

健脚な方におすすめの険しい道で、この自然休養林の比較的大きな天然秋田杉の樹間を散策するコースとなっており、木の大きさに驚きと、感動を与えてくれるでしょう。



⑤ 「いろどりの径」

めおと杉370m・25分 展望台

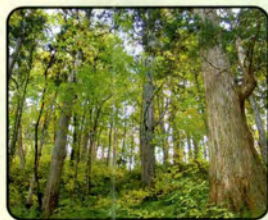
博物館のバックとなっている天然秋田杉、明治時代に植栽した秋田杉と広葉樹の織りなす彩りは見事です。



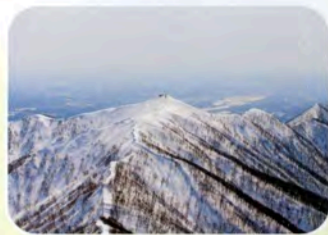
⑥ 「こもれびの径」

めおと杉3,000m・100分 吊橋

天然秋田杉、広葉樹の樹間を歩きながら静寂の森に耳を澄ませば心地よい自然の音が聞こえ、癒しになるでしょう。



「仁別国民の森」



冬の太平山山頂

太平山



奥岳～中 5,000m・1

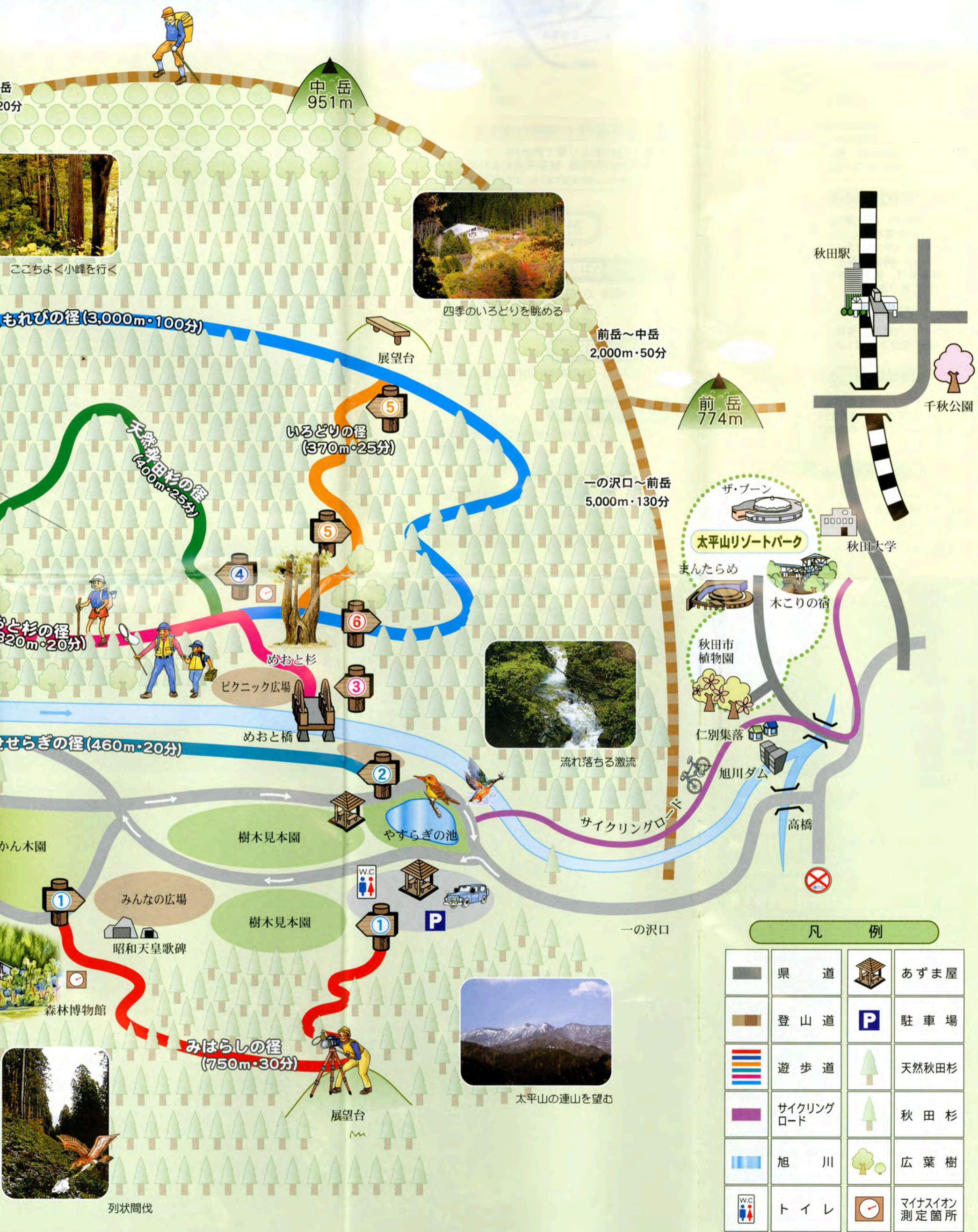
こもれびに包まれて

天然秋田杉の美林

吊橋

旭川の渓流

「森」散策マップ



中岳 951m

前岳 774m

前岳～中岳 2,000m・50分

一の沢口～前岳 5,000m・130分

ここちよく小峰に行く

四季のいろどりを眺める

もれびの径 (3,000m・100分)

天然秋田杉の径 (400m・25分)

いろどりの径 (370m・25分)

めおと杉の径 (320m・20分)

せらぎの径 (460m・20分)

かん木園

みんなの広場
昭和天皇歌碑

森林博物館

みはらしの径 (750m・30分)



列状間伐



流れ落ちる激流



太平山の連山を望む

秋田駅

千秋公園

秋田大学

太平山リゾートパーク

まんたらめ

木こりの宿

秋田市植物園

仁別集落

旭川ダム

高橋

一の沢口

凡 例

	県道		あずま屋
	登山道		駐車場
	遊歩道		天然秋田杉
	サイクリングロード		秋田杉
	旭川		広葉樹
	トイレ		マイクスイオン測定箇所